

臨床研究の公開情報

豊橋市民病院では、下記の臨床研究を実施いたします。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さん（もしくは代理人）から直接同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

[試験名]

骨盤骨折手術における合併症対策に対する研究

[実施期間]

2020年8月5日 から 2030年3月31日 まで

[対象となる方]

2016年4月1日以降に骨盤骨折手術治療を行った患者さん

[研究責任者]

豊橋市民病院 整形外科 副部長 武田真輔

[研究の目的]

骨盤骨折手術、前方皮下骨盤創内固定 Anterior subcutaneous pelvic internal fixation (ASPIF)は両側の下前腸骨棘にスクリューを刺入し、皮下に通したロッドで固定する創内固定です。ASPIF は低侵襲かつ強固な固定性を有し、骨盤創外固定における、感染、ゆるみ、矯正損失、患者動作制限といった欠点を改善するために開発されました。ASPIF は不安定型骨盤輪損傷に有用な整備固定方法ですが、合併症として約30%に外側大腿皮神経障害が起こると言われています。神経障害の術中予防方法に関する研究を行うことが目的です。

[データの利用について]

●情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

ASPIF を用いた骨盤骨折手術後の外側大腿皮神経領域のしびれを評価するために電子カルテよりデータを収集します。

●研究に利用する情報の項目

年齢、性別、BMI、既往歴や併存症、内服歴、X線やCT、MRI画像、術中写真、症状確認のためのカルテ情報、問診票、術中所見確認のための手術記事。

●利用する者の範囲

豊橋市民病院 整形外科 スタッフ一同

●個人情報管理者

豊橋市民病院 整形外科 副部長 武田真輔

情報の研究への利用は、本人もしくは代理人の請求によりいつでも拒否することができます。

ご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、担当医もしくは下記窓口までお申し出ください。

ただし、既に公表された研究成果につきましては、削除することが困難な場合がありますのでご了承ください。

<豊橋市民病院の相談窓口>

豊橋市民病院 臨床研究管理室（または整形外科 武田真輔）

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西 50 番地 ☎0532-33-6111（代表）